

環境経済学 Environmental Economics		全専攻		専攻選択科目	
		1年	後期	2単位	選択
担当者(部屋番号)					
長谷部 勇一 楠美 順理 (832)					
【 授 業 目 標 】					
20世紀、人々は経済成長に至上の価値をおき豊かさをめざしたが、公害問題だけでなく、地球温暖化・酸性雨・熱帯林破壊などの地球環境問題、廃棄物問題など深刻な環境問題を発生させ人類の生存を脅かすようになっている。本講義では、これらの問題を経済学の立場からどのように分析しうるのかという点について考察を行う。具体的には、外部不経済、社会的費用などの環境経済学における基礎概念の理解の上で、費用便益分析、産業連関分析を応用して、経済と環境負荷に関する現実の諸問題を分析し、自然と環境との共生をめざす持続的発展のあり方についての理解を深める。					
【 授 業 方 法 】					
授業計画に沿って、講義形式で行う。事前にプリントを配布するので予習すること。環境の経済的評価、環境負荷の数量分析など、必要に応じてパソコンを用いた実習も行う予定である。					
【 授 業 計 画 】					
<ol style="list-style-type: none"> 1 環境経済学の対象と方法 - 対象、外部不経済論、社会的費用論、経済体制 2 新古典派経済学と環境 - ミクロ(価格)理論の基礎 3 新古典派経済学と環境 - ミクロ理論の前提と環境、外部不経済論 4 社会的費用論と環境 - 政治経済学の基礎 5 社会的費用論と環境 - 社会的費用論の歴史、社会的費用の計測 6 環境の経済的評価 - 環境評価の手法と理論 7 環境の経済的評価 - 米国における環境評価手法の政策利用 8 環境の経済的評価 - トラベルコスト法 9 環境の経済的評価 - 便益移転の条件 10 環境の経済的評価 - CVM(仮想的評価法) 11 経済成長と環境負荷について 12 経済成長と環境負荷 - 産業連関分析の基礎 13 経済成長と環境負荷 - 日本の経済成長と環境 14 経済成長と環境負荷 - LCA(ライフサイクルアセスメント) 15 まとめ - 持続的発展とは - 					
教科書	プリント配布。		評価方法	出席状況、講義での討論、レポートにより総合的に判断する。	
参考書	なし。		留意点		